

～H24年度第4回コア会議が開催されました～

平成 25 年 3 月 21 日(木)に「公園マネジメント会議 平成 24 年度第 4 回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、16 名のコア会議会員の方が出席しました。

議題としては「防災」をテーマに『知ってましたか？ シリーズ』として「モリコロパークの震災時公園管理計画」が紹介され、『分科会活性化シリーズ』として、「緊急時に備える実習分科会」の活動が報告されました。また公園マネジメント会議の総意を確認し次年度へつなげるための意見交換などが行われました。さらに審議事項として、分科会の申請、ルールブックの改定、「成果指標・目標値」の設定が予定されていましたが、出席者不足のため決議は行わず、意見交換までとしました。



知ってましたか？〇〇シリーズ「モリコロパークの震災時公園管理計画」

「モリコロパークの震災時公園管理計画」について、現況のマニュアルである「震災時公園管理計画」について、愛知県公園緑地課の高木課長補佐より説明されました。

(主な意見)

この公園は中核防災活動拠点施設であるので、自衛隊等の活動場所となるが、この公園に滞在していたお客様を外の避難場所に誘導する方法も考えておく必要があるのではないかと。

来園者は、近くの小学校へ避難誘導する計画であったが、公園から多数流れると、市側の収容人数を超えてしまうことも予想され、他の避難所への誘導等、長久手市と協議をしている。身体障害者、高齢者は、避難所を市で設定しているため、市と連携をとり対応していきたい。



分科会活性化シリーズ「緊急時に備える実習分科会」

「緊急時に備える実習分科会」の活動について、分科会設立趣旨ふりかえり、これまでの分科会活動の状況報告、取組の中間報告、今後の方向性などについて、愛知県公園緑地課今成技師より報告されました。ペットボトルキャップを活用して編み出したシミュレーション「PBC 法」も紹介されました！

(主な意見)

- ・PBC 法を使って、避難地への誘導や人の動きを把握する実験を訓練として行ったが、避難者が集中してしまったり、情報が錯綜するなどの問題があった。訓練の周知徹底がなされていなかったことも明確になった。
- ・防災活動のボランティア団体の方に講師にきてもらい勉強会を開催したいと考えている。
- ・イベント的に防災訓練を開催し、集客のネタにしながら、色々な人を巻き込んで訓練をしたい。
- ・中核防災活動拠点として自衛隊等が活動を開始するまでは避難場所として活用は可能であり、ここから次へどのように誘導するか、なども明確にするべき。
- ・一般の方への正確な情報の周知と、県立大学など周辺地域と連携し災害時の対処を調整していく必要がある。



公園マネジメント会議の総意を確認し、次年度の活動へつなげよう！

今年度話し合ってきた3つのテーマについて、各施策やアイデアを実現・実践するために考えられる手法について、5つの方針を設定し、意見交換を行いながらそれぞれの手法の設定を行いました。また、公園マネジメント会議から提言されたことは愛知県としても取り組みやすいことが事務局から伝えられました。

A) 公園の自然や緑の保全と活用

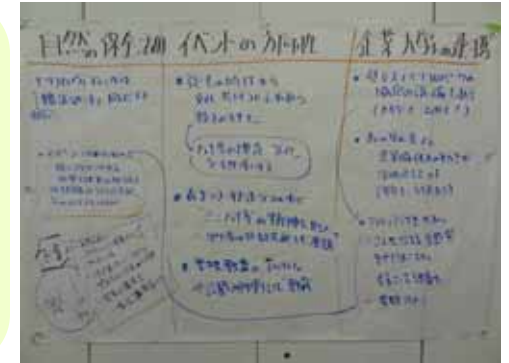
- ・分科会で対応するが、様々な意見をまとめるコーディネーターが必要
- ・学識者や会員以外の方の意見を取り入れることも大切

B) 公園で実施するイベントの方向性

- ・伝統芸能の活性化に公園を活用し、地域の結節点となれば素晴らしい
- ・公園は学校で成し得ない教育の一端を担う役割を有している

C) 企業や大学などの多様な参画

- ・既にある企業とのつながりを利用して
- ・文化活動面でも企業と協力していけるとよい



「自然の保全と活用を实践する分科会」の設立申請について

出席者が過半数に満たなかったため、決議ができず、承認は次回へ持ち越すことになりました。

ルールブックの改定について

事務局より、委任状制度の導入及び会長を補佐する副会長の新設が提案されました。出席者不足のため、この議題も承認は次回へ持ち越しとなりましたが、事務局から内容の説明がされ、意見交換を行いました。

(主な追加事項)

- ・副会長を2名と提案した理由は、文化系と環境系で分野ごとに役割分担をして会長を補佐することができることを期待した。
- ・総会の成立については、「委任状を提出した者は出席とみなす」という文があり、また議決については、「出席した会員の過半数」という文になっており表現が不明確なので修正すべき。
- ・可否同数のときの判断方法や会長欠席の際の副会長の責任などを明確にすべき。
- ・副会長2名のうち、会長の代行ができるのは1名(優先順位がある)という考え方である。

今年度の公園マネジメント会議の「評価指標」「目標値」の設定について

平成 24 年度「第 1 回評価委員会」の結果報告、評価指標及び目標値、会員へのアンケート、今後の会議の取組への提言について、事務局より、改善点等の説明がありました。

なお、当日はコア会議会員の出席者が過半数に満たなかったため、決議ができない状況でしたが、アンケートの内容などについては、締め切りまでの日数の関係上、今日の出席者の会員の承認を以って、欠席された会員の意向を確認した上で、事務局判断にて実施していく旨の説明がされました。

(主な意見・結果)

- ・アンケートについて、量、質を仕分けして評価をすることは、意識化を図る上でおもしろい試みである。
- ・評価指標で、「会員自身の実践活動について」は、上の青字は、会員の活動が公園マネジメント会議の主旨に沿って行われているかという評価、下の赤字は自分でやられている活動が質的にいいものであったか、数量的にすぐれていたかの評価であり、重複はある。

報告・連絡事項

最後に、平成 25 年度の公園マネジメント会議の活動スケジュール、公園マネジメント会議の評価書作成への協力依頼、平成 25 年度からの新規会員の募集、会員継続の意思確認、平成 25 年度のコア会議会員の募集、春まつりについて、事務局より報告されました。

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当：服部 ； 公益財団法人愛知都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所 担当：落合
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 ； 〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329 ； TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

